

議会だより

2025.4.25

No. **205**

山梨県昭和町議会

<https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/>



しょうわ



表紙写真

私の町は私が守る

•表題(しょうわ)については「押原小学校 5年2組 秋山 偉蹴(あきやまいける)さん」の直筆です。

② **令和7年度予算
町長施政方針**

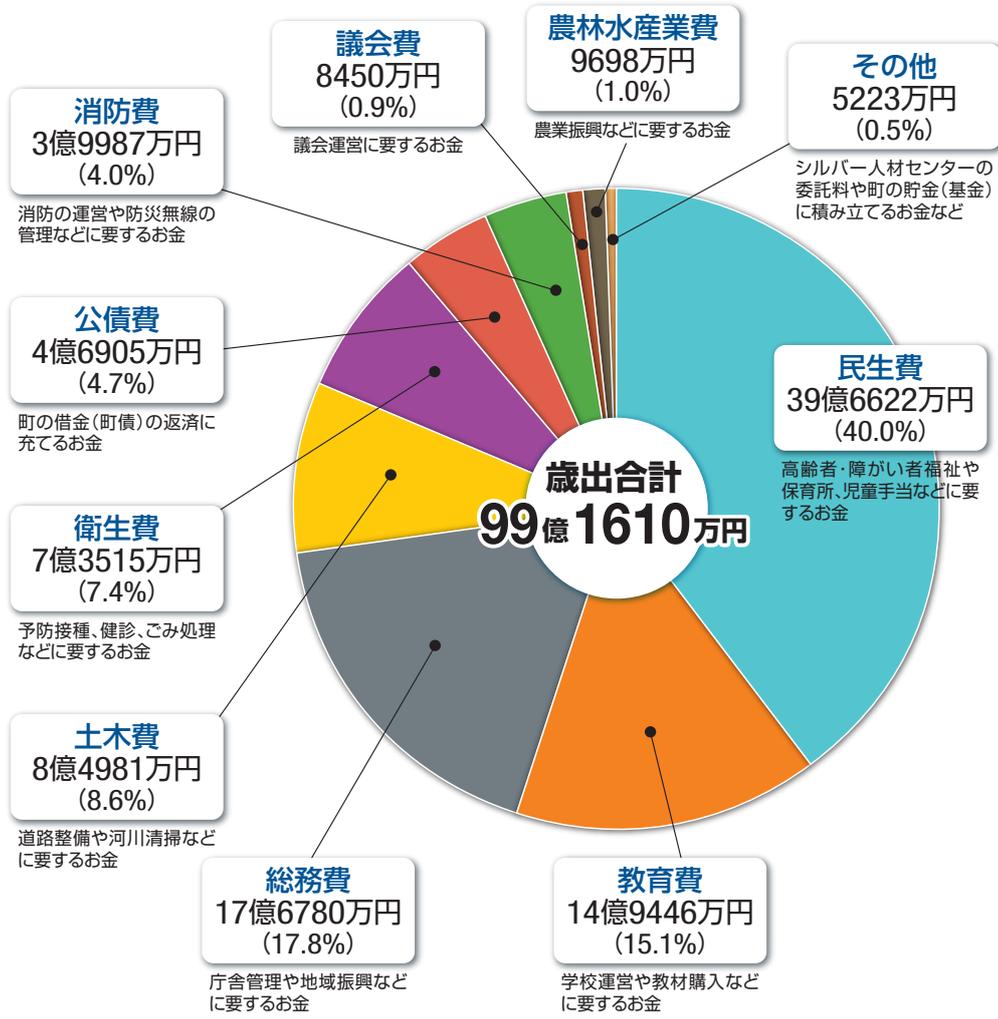
④ **町の予算の使われかた**

⑩ **一般質問** ここが聞きたい

⑬ **井戸端会議** 地域住民と議員との対話集会

化の推進・公共施設の再編を継続!

※数値は端数調整してあります。



3月定例会の概要

令和7年第1回定例会において、当局より令和7年度の一般会計・特別会計・下水道事業会計予算案が提出されました。これに伴い設置された「予算審査特別委員会」において、全議員で慎重審査を行い、本会議において、すべての会計を全員賛成で可決しました。

「未来への魅力あふれる昭和町」の実現に向けて

— 施政方針演説 —



塩澤 浩 町長

令和7年度の重点施策

- 物価高騰対策
 - ・ 農業用資材等の価格高騰分の助成制度を継続
 - ・ 給食・副食費の1学期相当分の無償化の継続
- デジタル化推進
 - ・ AIを活用した業務の効率化
 - ・ 証明書発行手数料のキャッシュレス化
- 公共施設の再編
 - ・ 中央公民館の解体

その他の取り組み

- 中学校の部活動地域展開
- 高齢者移動手段確保事業の制度創設に向けた実証運行実験の実施
- ふるさと納税事業の庁内体制の強化
- 災害時に対応するための自動パック式トイレとクレーン付き車両の整備
- 空き家除却費用の補助

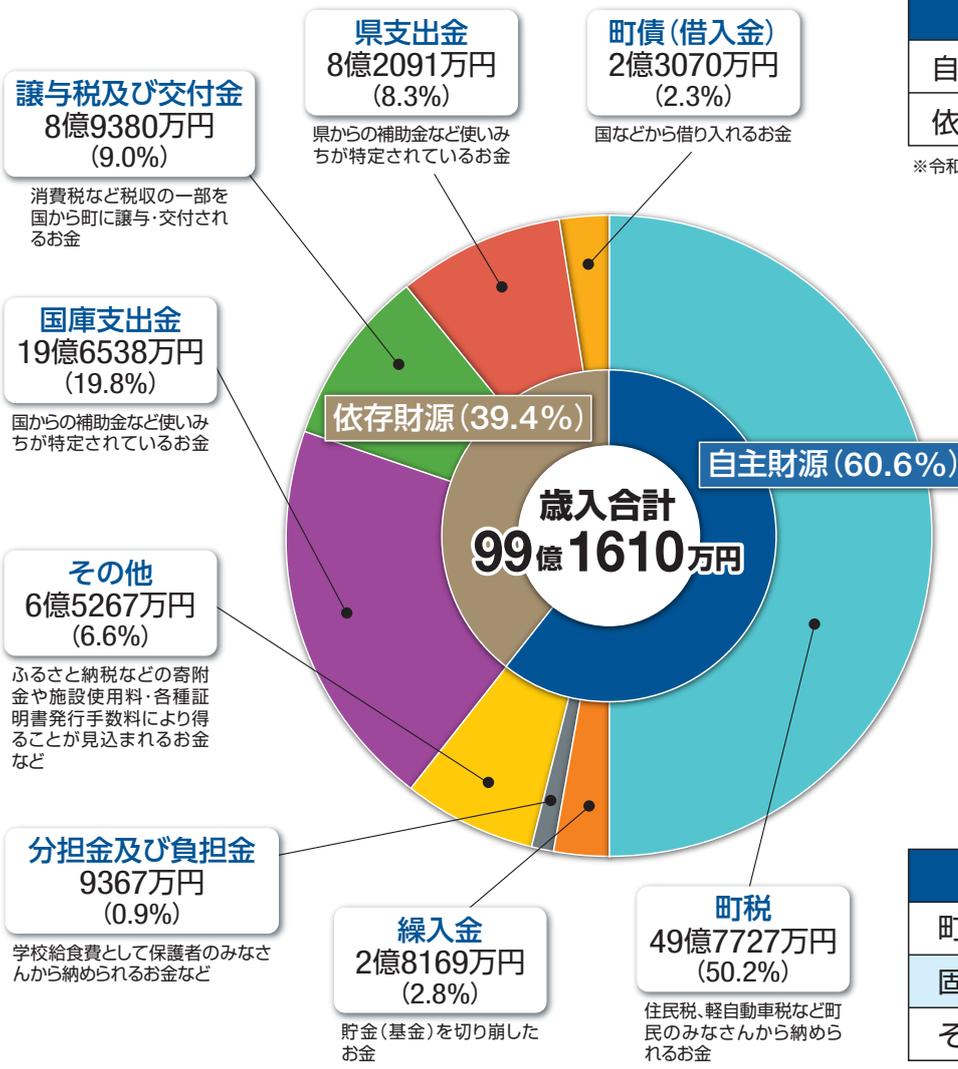


▲「広報昭和4月号」施政方針全文を掲載

令和7年度 一般会計

物価高騰対策・デジタル

個別の注目予算は次ページ



	昭和町	県内平均*
自主財源	60.6%	46.5%
依存財源	39.4%	53.5%

※令和6年度の骨格・暫定予算を除く山梨県内22市町村の平均

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん
自主財源と依存財源って
どう違うの?

自主財源は税金など町に入ってくるお金で、依存財源は、国や県などから入ってくるお金だよ。



町税の内訳	
町民税	20億7297万円
固定資産税	25億4695万円
その他	3億5735万円

一般会計・特別会計予算		
会計名	令和7年度	前年度比
一般会計	99億1607万円	6.5%
特別会計	国民健康保険	18億7064万円 -0.9%
	後期高齢者医療	2億8212万円 3.9%
	介護保険	11億3779万円 7.2%
	介護サービス	3808万円 5.4%
合計	132億4470万円	5.0%

公営企業会計予算			
会計名	区分		令和7年度
下水道事業	収益的 収支	収入	8億2578万円
		支出	7億5406万円
	資本的 収支	収入	3億3719万円
		支出	6億2942万円

ばんを目指して



<p>「ほたる學舎」の継続</p> <p>143万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会場借上げ ● 講師料等 	<p>英語教育・情報教育の推進</p> <p>1億5297万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小中学校英語指導 (外国人講師) ● ICT構築・保守 ● ICT環境整備 	<p>照明設備のLED化</p> <p>1億6808万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事監理業務
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>「個別センター健診」の継続</p> <p>764万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個別センター健診委託 	<p>医療用ウィッグや乳房補正具等への購入助成を継続</p> <p>50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療用ウィッグ・乳房補正具の購入助成 	<p>高齢者福祉・介護、障がい児者関連施策</p> <p>8億9637万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自立支援給付費 ● 社会福祉・地域福祉事業 ● 障がい児者補装具給付等 	<p>高齢者移動手段確保事業の検討</p> <p>1276万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (仮称) 高齢者移動手段確保事業実証運行実験 ● 赤字路線バス補助金等
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

幹線道路の分散化による渋滞緩和

1億9000万円

- 昭和玉穂中央通り線道路整備事業
- 町道124号線道路改良事業

CHECK 2



<p>家庭用発電機等の購入費用の助成を継続</p> <p>140万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 非常用電源購入費補助金 	<p>危険箇所の解消</p> <p>350万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外側線標示等工事 ● 交通安全施設工事 	<p>空き家除却費用を補助</p> <p>50万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空家等除却費補助金
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

災害備蓄品の充実

CHECK 3



山梨県の被害想定が変更されたことに伴い、本町における被害想定に対応できるよう、災害備蓄品の確保に努めていく。

議員は
ココを見る!



<h3>教育環境の充実</h3>	<p>町単職員や教育指導員の適正な配置</p> <p>1億465万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小中学校町単教員雇用 ●小中学校教育指導員雇用 	<p>部活動の地域展開</p> <p>620万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務委託 	<p>教育支援センターの単独設置</p> <p>255万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設整備
	<p>「こども計画」の作成</p> <p>378万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●こども計画策定業務委託 	<p>育児不安等に関する相談、育児指導への助成制度</p> <p>2867万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●妊婦のための支援給付と包括相談支援 	<p>「しょうわ子育て支援ナビ」の利用者の拡充</p> <p>26万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳アプリ業務保守委託
	<p>CHECK 1</p>		
<h3>地域経済の発展</h3>	<p>商工振興センターの積極的な活用</p> <p>660万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理料 	<p>地域経済の活性化に資する事業の実施</p> <p>3051万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●育成補助ほか 	<p>ふるさと納税の推進</p> <p>1640万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと納税業務(返礼品・寄付者管理)
	<p>安全・安心なまちづくり</p> <p>2527万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難所防災備蓄 	<p>クレーン付き車両を整備</p> <p>916万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害対応車両購入 	<p>自主防災会への資機材等の購入費助成を継続</p> <p>254万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災会施設等整備費補助金
	<p>CHECK 3</p>		

部活動の地域展開

CHECK 1



中学校の部活動は、教職員が顧問となり指導を行ってきたが、放課後や休日の指導が負担となっている。教職員の働き方改革もあり、本町では、総合型地域スポーツクラブ「カメラリア」が受け皿となっている。

幹線道路の分散化による渋滞緩和

CHECK 2



昭和玉穂中央通り線や西条の住宅公園から工業団地へ向かう道路(町道124号線)までの接続をよくするための、道路インフラの整備を行っている。

3月定例会で 決まったこと

令和7年3月定例会は、3月4日から3月19日まで16日間の会期で開催しました。承認関係3案件、条例関係11案件、令和6年度補正予算関係6案件、令和7年度予算関係6案件、委提1案件、人事関係4案件、その他3案件の計34案件を審議しました。

詳細は5月末更新予定のHPの会議録をご覧ください ※小林耐三議員は議長のため、採決には加わっていません。		審議結果
案件名		
【専決処分】(3案件) ●押原中学校グラウンド夜間照明LED化工事請負変更契約締結の件 ●和解及び損害賠償の額を定めることについて ●令和6年度昭和町一般会計補正予算(第5号)について		承認
【条例改正】(7案件) ●昭和町行政不服審査会条例等 ●昭和町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例 ●昭和町使用料徴収条例 ●昭和町職員給与条例等 ●昭和町職員の勤務時間・休暇等に関する条例 ●昭和町国民健康保険税条例 ●昭和町特別会計設置条例 【条例制定】(2案件) ●昭和町犯罪被害者等支援条例 ●昭和町行政組織機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例 【条例廃止】(2案件) ●昭和町立公民館の設置及び管理等に関する条例 ●昭和町湧水対策事業基金の設置、管理及び処分に関する条例		可決
【令和6年度補正予算】(6案件) ●一般会計 ●国民健康保険特別会計 ●後期高齢者医療特別会計 ●介護保険特別会計 ●湧水対策事業特別会計 ●下水道事業会計		可決
【令和7年度予算】(6案件) ●一般会計 ●国民健康保険特別会計 ●後期高齢者医療特別会計 ●介護保険特別会計 ●介護サービス特別会計 ●下水道事業会計		可決
【委員会提案】(1案件) ●昭和町議会個人情報の保護に関する条例中改正の件		可決
【人事関係】(4案件) ●昭和町教育長の任命 ●昭和町公平委員会委員の選任(3案件)		同意
【その他】(3案件) ●昭和町中央公民館解体工事請負契約締結の件 ●区域外における公の施設の利用に関する協議の件 ●中央市・昭和町教育支援センターの共同設置の廃止に関する協議の件		可決

可否が分かれた議案		※小林耐三議員は議長のため、採決には加わっていません。											審議結果		
案件名	井口正	永井敏男	保坂貴子	植竹由美	今澤幸広	野沢敬夫	今村力	泉敏弘	長田信夫	海野豊	小林耐三	金丸富一		石原高明	河住保茂
令和6年度一般会計補正予算	可	可	可	可	可	否	可	可	可	可	-	可	可	可	可決

原案に反対



野沢 敬夫
議員

令和5年12月定例会にて昭和町各区公会堂建設等事業助成金交付要綱の改定を求め一般質問を行った際、現行要綱を目的に沿った助成基準を策定する方向で検討する旨の答弁がなされたが、今回の補正予算では、要綱の改正は助成金額の20%引き上げのみであり、区民数や世帯数に応じた助成基準の策定は行われていない。公平で透明性のある制度改定を早急に実施することを強く求めるものであり、原案に反対する。

各区公会堂は、地域住民の交流の場であると同時に、災害時には自主防災会の拠点として機能するなど、自治会運営に欠かせない重要な施設である。令和7年4月に建築基準法改正が迫る中、近年の物価高騰や人件費の上昇の影響により、建築面積の縮小など、当初の計画を見直すことで、建築確認申請までこぎつけており、これ以上のスケジュール変更は、設計見直しやさらなる建築費の高騰を招くおそれがあるため、原案に賛成する。

原案に賛成



井口 正
議員

産業厚生常任委員会

県事業により撤去される火の見櫓は

長田委員 築地新居区の火の見櫓は町内で唯一となつてしまい貴重なので、押原公園等に移設して残すことができないか。

建設課長 火の見櫓は築地新居区の所有物であり、区では半鐘のみを残す予定である。

老朽化により移設が可能か、費用がどの程度必要



火の見やぐら

か、移設した場合の今後の管理方法、歴史的文化財として保存する必要性等の有無を検討したうえで判断したい。

老朽化した下水道管は

海野議員 町では、老朽化した下水道管についての情報収集や点検、もしも事故が発生した際の連絡体制等についてどのように取り組んでいるのか。

下水道課長 1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管腐食による道路陥没事故を受け、緊急の点検を行った。甲府市川三郷線の山梨大学病院入口交差点から常永小学校南の交差点付近までの約680メートルにコンクリート

管が入っているが、異常なしの報告を受けている。

事故が発生した際には、24時間対応の緊急連絡体制が整っている。

また昭和町の下水道管は硬質塩化ビニル製で、腐食に強く、通常の使用では腐食等は起こらない。



下水道管内調査写真

保育士の確保は

野沢議員 町内の保育園・こども園の定員は需要を満たしているのか。

また、保育士の確保はできているのか。

総務課長 0歳から3歳までの子どもは、町内9園では需要を満たし切れず、近隣の園を含めて満たしている状況である。

保育士は産休や退職等で定員から減少している。町として定員を満たすよう働きかけていく。

農福連携事業は

農福連携という取り組みは行っていないが、町内の「みらいファーム」という障害福祉サービス事業所は農作業を行っていて、そこで作られた米を給食センターに納品しているほか、お祭りにも出店しPRを行っている。町では、事業所としての取り組みを支援することで、農業と福祉の連携を図っているとこだ。

保坂委員 県では、障がいのある方が農業に取り組む「農福連携事業センター」を設立することで、農家の人手不足といった問題や障がい者の収入向上、精神的にも良い効果

が期待できるとのことである。本町での取り組みは。

福祉介護課長 町として



農福連携事業所(みらいファーム)

3月定例会委員会質疑

質問・回答は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

空き家の現状と
取り組みは

井口議員 空き家対策

計画に基づく、その後の進捗状況は。特に空き家調査結果を踏まえた法定協議会設置の検討が行われているのか。また、特定空き家に対する今後の方針は。

都市整備課長 法定協

議会は未設置なので、空き家等対策検討委員会で検討する。

特定空き家については、

今後の具体的な方針が決まっていないため、国のガイドラインや近隣市町の方針を参考にしたい。

管理不全空き家も空き家等対策検討委員会で判断する。現状AからDランクの判定が150件ほどあるが、Dランクはすでに取り壊しされている。

総務教育常任委員会

ふるさと納税推進課は

小林委員 令和7年4月

に新設される「ふるさと納税推進課」は、どのような事務を担うのか。

総務課長 ふるさと納税

に係る事務はもとより、ネーミングライツやクラウドファンディングなどの事業を積極的に行っていく。国の補助金や交付金等を活用した事業についても



ふるさと納税推進課

精査したうえで取り組んでいく予定だ。

職員数に関する対応は

今澤議員 職員の数が少

ないように感じている。なぜ増員ができないのか。

総務課長 職員定数につ

いては、定員適正化計画に基づき管理している。最終的に計画している人数は125人で、令和7年度には、113人となる予定である。

採用者数を増やすことに対応していく予定であるが、今後は職員数を増やすことだけでなく、業務を効率化する取り組みも視野に入れて対応していく。

消防団運営の今後は

長田議員 県内自治体で

は、新任職員研修の一環として、「消防団入団研修」を取り入れているところもある。新規採用職員が実際に消防団員として活動すること、消防団活動を深く理解するとともに地域防災力のさらなる強化にもつなげる目的がある。本町でも「消防団入団研修」を取り入れてはどうか。

また、消防団員の負担

軽減という観点から、消防出初式の時間短縮を検討してはどうか。

企画財政課長 現在、24

名の役場職員が消防団に所属しており、多くの職員が貢献している。新規採用職員の入団制度を作るには、職務制度等の在り方を議論していく必要

がある。

消防出初式については、これまでも時間短縮のための検討をしてきたところではあるが、式典としての伝統と負担軽減のための効率化というところで、消防団、消防委員会とも協議し、検討していく。



消防出初式

予算審査特別委員会

タクシー乗車券の補助は

永井委員 高齢者の移動手段確保の方策のひとつとして、町内に限ってタクシー乗車券の実証事業を行うとのことだが、通院等で町外に行く方も多し。どのように対応するのか。

総務課長 実証実験を行い、今後、利用者のアンケートをもとに意見を取



り入れて、町民の皆様が利用しやすい制度を作れるように取り組んでいく。

ホテルの飼育や管理は

海野委員 教育委員会では、令和6年度から昭和町全体にホテルの飼育を広げる試みを行っているが、成虫になったあとの管理、環境の整備をどのように行っていくのか。

生涯学習課長 ホテルの飼育については、押原中学校の自然科学部が部活動の二環として行っている。

また、小学校においても、飼育を行っているが、特に押原小学校では、先駆的に、ビオトープを使っている。最適な飼育方法を模索しながら検証を行っていききたい。

常永駅前駐輪場は

野沢委員 常永駅の駐輪用地の財産購入費と自転車整理委託が予算計上されている。自転車駐輪場以外に止められたり、車道まで出ていたりといった状況もある。駐輪の仕方を調査したうえで、整然と駐輪できる仕組みを考えてほしい。

企画財政課長 シルバー人材センターに週3回整理を委託している。それと同時に、駅前に駐輪しである自転車を、一部でもよいので、新たに購入する駐輪用地に移していきたい。



押越ふれあい広場の駐車場は

小林委員 押越ふれあい広場の駐車場整備工事の具体的内容は。

都市整備課長 押越ふれあい広場は現在駐車場がないので、大きい駐車場は難しいが、2台くらいの駐車スペースを公園北側の一般的な入口の内側に作る計画である。



押越ふれあい広場

带状疱疹ワクチンの対象は

井口委員 带状疱疹は50歳以上の罹患率が高いと聞いているが、ワクチン接種の対象は65歳から5年ごと年齢なのか。

いきいき健康課長 国の方針として、「重症化予防」という観点から、定期接種の対象者は、65歳の方と令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置として、70歳以上の5歳刻みの年齢の方となる。したがって、それよりも若い年齢の方々に関しては、自己負担での接種となる。



(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

施策を問う // ここが聞きたい //

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

一般質問の内容は議会事務局及び5月末更新のHP会議録からも閲覧できます ▶▶▶



Q

リサイクル品の収集場所の 適正な配置を

A

各区から要望があれば、協議を行いたい



井口 正 議員

井口 本町では、近年の新規住宅分譲地の増加により、多くの新しい世帯が増加している。
しかしながら、既存のリサイクル品の収集場所の配置が従来そのままとなっているため、新興住宅地に住む町民からリサイクル品の収集場所までの距離が遠く不便であるとの声が寄せられている。
また、一部の地域では、リサイクル品の収集場所のボックス許容量が不足することが懸念されていて、リサイクル品の収集場所の適正な配置が求められている。

町長 本町では、現在、紙、プラスチック、びん等のリサイクル品の収集場所が43か所ある。
回収作業を職員と回収業者で行っていて、紙については職員が回収し、それ以外は回収業者へ依頼している。
また、回収時に、収集場所の状況等の確認、報告を受け対応している。
ごみの分け方、出し方については、環境保健委員を

る。
リサイクルの推進は、ごみ軽量化や環境負荷の低減、さらには持続可能なまちづくりの観点からも重要な課題である。
利便性を確保しつつ、適正なリサイクル品の収集場所の設置を進めることが町民のリサイクル意識の向上にもつながると考える。
そこで、リサイクル品の収集場所の設置における現状と配置の適正化について、町の方針があれば、町長の考えを聞きたい。

通じた周知の他に、ごみ収集・リサイクルカレンダーの全戸配布や、ホームページへの掲載により周知を図っている。
また、転入時に渡す転入者セットへもごみの分け方、出し方、ごみ収集・リサイクルカレンダーを同封して、ごみの分別、資源リサイクルへの理解と協力をお願いしている。
リサイクル品の収集場所については、43か所あり、現状においては、適正だと考えているので、有効に活用してもらえよう周知していきたい。

再質問

新設、配置の見直しについては、近隣の方の理解と協力が必要となるので、各区から要望があれば、協議を行いたいと思っている。
過去3年間でリサイクル品の収集場所の新設や配置の見直しにおける区や町民からの要望件数、また、それに伴う対応状況等の結果について聞きたい。

環境経済課長

件数は2件あり、移設を行ったのが1件、協議中が1件となる。



「昭和町HP資源物収集場所」へのリンク二次元コード



Q

環境問題、環境教育普及啓発についての取り組みは？

A

町環境基本計画に基づき環境問題への対策に努めていく。



ほさか たかこ
保坂 貴子 議員

保坂

県は、環境基本条例を平成16年4月に制定し、その条例の付則において、地球温暖化やオゾン層の破壊など、人類の存続基盤である地球環境に影響を及ぼしているところ。

本町の第7次総合計画では、環境保全対策の推進において廃棄物処理の充実をうたい、省資源リサイクルの普及・啓発として省資源やリサイクル意識の醸成に努め、関連諸制度の迅速な周知徹底に努める住民や事業所へのリサイクル活動の普及を促進、ごみの排出抑

制や再資源化への取り組みを進めるとある。

また、環境学習・啓発の促進として、地球温暖化防止に向けた住民への普及・啓発活動、使い捨て抑制、省エネルギーなどの学習機会や広報・啓発活動の促進環境イベントを実施し、再資源化の体験のできる場所を通じて、環境問題対策の普及・啓発を進めるとあるが、本町における第7次総合計画及び環境基本計画を踏まえ、本町の環境問題、また、環境教育・普及啓発についてどのように取り組んでいくのかを聞きたい。

町長

省資源、リサイクルの普及啓発については、ごみ収集・リサイクルカレンダー等の全戸配布、ホームページへの掲載により周知を行い、リサイクル活動の普及促進に努め、ごみ排出抑制や再資源化を進めている。

環境教育については、教育委員会が、町のことをより知ってもらうため独自に製作し、小学校3、4年生

の学習教材として活用している「社会科副読本」に、町のごみ収集やリサイクルに関する取り組みについて掲載しており、加えて、小学校4年生の総合学習で活用するため環境副読本を配布するなど、子どもたちの環境学習に役立てているほか、町内各校にリサイクルボックスを設置し、実際にリサイクル活動を体験してもらっている。

また、家族でエコ体験ができる、環境問題について考えるきっかけづくりとして開催している「エコしようわ」では、以前から行っているリユース食器を活用した、使い捨てからリユースへの啓発を行い、ゴミの削減に努めている。

引き続き、環境問題への対策、環境教育の推進、省資源、リサイクルの普及啓発に努めていく。

再質問

エコしようわの展ブースでリユース食器を使用した事業者は、2022年3店、2023年4店、20

24年4店と横ばいだが、この状況を改善するための考えは？

また、児童生徒に向けての環境教育は大変重要であり、しっかりと取り組まれていると感じたが、児童生徒以外の町民に対して、環境問題について考えてもらう機会が必要かと思うが、その点についての考えも聞きたい。

環境経済課長

昨年のエコしようわでは、食器を必要とする店舗が5店舗、リユース食器を使用した店舗が4店舗となっているが、引き続き、リユース食器の使用を呼び掛けていきたい。

エコしようわでは、親子でエコ体験ができるコーナーもあるのですが、エコについて考える良い機会だと考えている。

また、環境保全ポスターや標語の優秀作品の表彰の際には親子で出席してもらうなど、家族で環境問題について話し合う機会が提供できていると考えている。

一般質問

Q

子育て支援センターについての考えは？

A

ニーズ調査の結果を踏まえながら、令和7年度中に優先順位を決定し方向性を示す

野沢



のざわ たかお
野沢 敬夫 議員

前町長が山梨中央銀行昭和支店の土地建物の購入協議を始めるにあたり、活用構想の一つとして乳幼児と保護者の居場所として「子育て支援センター」の構想が候補に挙がり、子育て支援センターとしての機能検討してきた。

計画を進める中、アスベストの使用を確認して撤去まで時間を要してしまい、アスベスト撤去までの間、近隣市ではプレイルームを兼ねた「子育て支援センター」を造っているという状況のもと旧山梨中央銀行

昭和支店では面積が足りないと考え、母親の相談的機能はいきいき健康課の中で社会福祉士と保健師を配置した「こども家庭センター」で対応することとし、旧山梨中央銀行昭和支店は商工振興センターとして活用することとなった。

議員から「子育て支援センター」の建設について一般質問した際、町としての「子育て支援センター」については公共施設再編成の中で建設、整備について速やかに進めていくという答弁でしたが、しかしながら町長の公約に掲げている「子育て支援センター」の設置の具体的計画は任期を2年とする中で何も決まっていない。

そこで現在、「こども家庭センター」で行っている育児相談等を公共施設の空いている曜日・時間帯を活用しての移動型プレイルーム開催に合わせて行ったりすることで、「こども家庭センター」に行かなくても気軽に相談ができる環境の整備ができるかと考える。

町として子育て支援事業を推進していく「子育て支援センター」の建設も必要と考えるが、ハコモノを造らず、今できる子育て支援事業を行っていく考えはな

町長

子育て支援センターについては、山梨中央銀行旧昭和支店の土地と建物を購入し準備を進めていたが、施設からアスベストが検出されたことを受け、計画を一時中断した。

その後、子育て支援センターの必要性を鑑み、購入した当該土地と建物の活用方法について、改めて検討を進めてきた結果、町商工業のさらなる充実・発展のために商工振興センターとして活用することとし、昨年4月に運用を開始した。

一方、当初予定していた子育て支援センター事業の一部である、乳幼児親子の交流や育児に関する相談、情報交換ができる居場所の提供については、現在、町内3箇所のこども園が補助

金を活用し、その役割を担う事業を運営している。

また、町では相談業務の充実を図るため、令和6年4月にこども家庭センターを開設し、未就学児と保護者のための健康相談の場として「すくすく相談」も実施している。

「子ども・子育て支援事業計画」策定に向けたニーズ調査の結果においても、子育て支援センターを期待する声が多くあった。

町の子育て支援センターの整備については、公共施設再編の中で検討を行っており、厳しい財政状況の中で計画的に行う必要があるため、ニーズ調査の結果を踏まえながら、令和7年度中に優先順位を決定し方向性を示すようにする。

野沢議員から提案を受けた地域コミュニティ等を活用した子育て支援センターについては、令和7年度に予定している「こども計画」の策定に併せて、先進地の事例などを参考に調査・研究をしていきたいと考えている。

等により、活用計画を検討していくにあたり、現在、どのような進捗状況なのか聞きたい。

町長

旧鮎川邸は、土地と家屋の活用について、令和5年9月に公会堂用地、防災倉庫、子どものための利用などを検討するための覚書を交わし、同月に寄附された。

故鮎川様、また、ご遺族の方に改めまして御礼を申し上げます。

旧鮎川邸の活用ですが、まずは、覚書の内容に沿った形で、令和5年度末までに防災備品の備蓄、整理を行い、公会堂用地については、地元西条新田区からの要望に基づき、多目的に使用できるよう対象土地の利用用途や施設位置などを検討しているところだ。

公会堂用地は、国等の補助金活用状況を精査しながら地元西条新田区とも協議を行い、方針を定めたいと考えている。

また、地元、西条新田区民のほか、議会および町幹

部職員による見学も行い、家屋等についても、現状を確認しながら幅広く意見やアイデアを聞いたところである。

なお、町幹部職員以外の職員の見学も行う予定であり、また、令和7年度当初予算には、備品整理のための必要経費を計上している。

そうした要望や補助金の活用策、意見、さらには財政負担の状況などを検討したうえで、引き続き、公共施設再編なども踏まえて、今後の活用方針をまとめていきたいと考えている。

再質問

今年度の管理と備品管理にかかる予算と、今後の予定として、何年度をめどに土地を利用開始する計画か聞きたい。

企画財政課長

利用開始年度は、まだ決まっていない。

また、備品整理のための経費については、80万円弱を予算計上しているが、その件については当初予算の説明の折に詳しく説明する。



旧鮎川邸家屋の外観

Q 旧鮎川邸の活用計画は？

A 要望や補助金の活用策、意見なども踏まえて、今後の活用方針をまとめていきたい

河住

寄附を受けた旧鮎川邸の土地・家屋について、土地は宅地・農地をあわせて5,391㎡、家屋は居宅・倉庫等をあわせて680・54㎡で、貴重な財産をご寄附いただいたわけであるが、故鮎川氏との協議により、住居家屋については、子どもたちのために活用、倉庫については、防災備蓄倉庫として活用、また、農地部分については、地元西条新田区から要望があった場合には地区公会堂等に活用するなど、覚書を交わしている。

今後、覚書や地区の要望



かわすみ やすしげ 河住 保茂 議員



新たな財源確保について検討を

A

新たな財源確保策の包括的な役割を担う課を新設し、多様な取り組みを強化していく



おさだ のぶお
長田 信夫 議員

長田

各自治体では、新たな自主財源を確保する取り組みを行っている。取り組みのひとつであるネーミングライツ（命名権）は、自治体が所有する施設に愛称名を付ける命名権と諸権利のことをいい、スポーツ施設などの名前に企業名等をつけることで、自治体は企業から対価を得て、住民サービスの向上を図ることができる。新たな財源確保のため、以前、押原公園等のネーミングライツと放置自転車の売却等について質問した際は、どちらも検討するとの

事だった。

また、道路愛称名の制定についても、町としては美施に向け、前向きに考えていくと、以前答弁していた。そこで、供用開始している都市計画道路等の道路愛称名の一般公募と、企業からの道路愛称名のネーミングライツの公募と併せて行う事は可能だと思う。

金額は僅かではあるが、新たな財源確保に繋がる、ネーミングライツと放置自転車の売却、道路愛称名の制定の進捗状況と、公用車の有料広告、道路のネーミングライツ導入について、町長の考えを聞きたい。

町長

町では、厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を行い、財源を確保するために税収等の徴収率向上に努めるとともに、国・県の補助金の活用などに取り組んできたが、持続可能な行政運営を行っていくためには、長田議員の言うとおり、新たな財源の確保が必要であると考えている。

公共施設へのネーミングライツについては、施設の維持管理に係る財源確保の手段として有効であると認識しており、ガイドラインの検討も行っている。

また、企業等にとっても、地域貢献に加えて企業等のイメージや認知度の向上などのメリットがあると考えている。道路への愛称名については、ネーミングライツと併せて検討していきたい。放置自転車の売却については、他の自治体のようにリサイクルを委託することは、自転車の販売代金と委託に係る人件費等の費用対効果、事故があった場合の賠償責任等を考えると課題が多いため、これまでと同様に業者に引き取りを依頼していく。

今後については、新年度において、機構改革を行い、ふるさと納税をはじめ、ネーミングライツを含む広告事業等、新たな財源確保策の包括的な役割を担う課を新設し、多様な取り組みを強化していく。

再質問

財源確保の役割を担う課を新設し、多様な取り組みを強化することだが、ネーミングライツについては3年9カ月、道路愛称名の制定も4年経過しているが、いつ実現できるのか。

総務課長

時期についてははっきりとは示せないが、令和7年度に新設する課において、新たな財源確保のため、ネーミングライツ等の実現に向けて積極的に取り組んでいきたい。



地域住民と議員との対話集会 井戸端会議

昨年度同様、令和6年度も西条・押原・常永の3地区*に分かれ、各地区の区長及び役員の方々にご出席いただき開催しました。紙面の都合上、一部のご意見の概要のみを掲載させていただきます。(内容は要約しています。)

※西条地区・・・西条一区、西条三区、清水新居区、西条新田区
押原地区・・・押越区、河東中島区、紙漣阿原区
常永地区・・・築地新居区、飯喰区、河西区、上河東区、上河東三区

押原地区

●第1回 ●出席者：区民16名 ●参加議員：11名
●開催日：2月4日(火) ●場所：役場別棟会議室

おもな 意見・要望と議会の対応

Q 公共施設の再編について、現時点での進捗状況を伺いたい。

A 現状、なかなか進んでいない状況である。町当局は令和6年度に計画を決めて令和7年度から町民に説明していきたいと考えているようだが、財政状況等によりまだ決まっていない。これからの昭和町を考え、20年後30年後住んでよかったと思える町づくりを、議会も一緒になって議論していきたいと考えている。

Q 何年前かに防災リーダー講習を受講したが、受講者は区の役員で、若い方はいなかった。区の役員が中心の自主防災組織となっているが、役員は年々変わってしまっている。若い方の防災意識を高め、若い方が防災教育を受けたい。若いうちから防災意識を高め、若い方が防災教育を受けたい。若いうちから防災意識を高め、若い方が防災教育を受けたい。

A 昨年は能登半島地震を始めとして自然災害が多かったので、危機意識をもって対応してきた。能登半島地震の被災地支援に行った町職員の話やいただいたご意見を参考に共助の仕組みづくりを検討していきたい。

自主防災組織を作るうえで防災士の資格を持った方を中心とし

て作る方が良い。地域でも多くの若い方に防災士の講座を受講していただけるようお声がけを行っていただければありがたい。

Q 区長のなり手がいない。区長手当の引上げや仕事を減らすような環境改善が必要と思う。議会でも取り組みをお願いしたい。

A 区の役員だけでなく消防団員の確保も併せて課題として取り組んでいきたい。区の役員は行政の担い手であり、報酬を上げるとともに業務の見直しを行うよう提言する。



常永地区

●第2回 ●出席者:区民19名 ●参加議員:10名
●開催日:2月5日(水) ●場所:役場別棟会議室

おもな

意見・要望と議会の対応

Q 築地新居は常永地区なのか。学区は押原小であり、築地新居をどちらにするか統一していただきたい。築地新居はいつから学区が押原小になったのか。

A 河東中島では、学区は押原小だが、常永小に通わせたいという保護者の意見があり、教育長や当該区長と相談した。

A 築地新居は常永小建設時に児童数の関係で学区は押原小になったと認識している。区長会でも押原地区扱いになっていると聞いている。児童数によっても変わってくると思うが、区長会で協議する必要がある。

学区は規則で定められており、地区境の住民の「組つきあい」による学区の変更を認めることがある。その場合、本来の地区と「組つきあい」をする地区との合意が原則となる。

Q 能登では避難所の生活が不便だと聞いた。段ボールベッドの配備やトイレの問題を聞くが、昭和町の状況は。

A 昭和町では段ボールベッド、エアベッド、マンホールトイレ、箱型トイレに入れる凝固剤等を完備している。

能登半島地震の被災地支援に



行った町職員によると、問題はトイレを控えるために給水を控え、不調をきたすことであった。議会でも、現在の町の防災備蓄品の確認をした。

Q 釜無工業団地企業の地下水の化学物質の検査方法は、どのようになっているのか。

A ルネサス、テルモは半年に一度は報告を受け、甲斐市、南アルプス市と共有している。フッ素化合物等、飲み水に関するものは、甲府市上下水道局で有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)の検査結果を公表しており、昭和浄水場系の検査結果も出ている。全て目標値以下の検査結果となっている。

西条地区

●第3回 ●出席者:区民16名 ●参加議員:11名
●開催日:2月13日(木) ●場所:役場別棟会議室

おもな

意見・要望と議会の対応

Q 自治会加入者の減少や高齢者の退会等、地域での関わり合いが希薄になることにより、政治への関心も薄れてしまうという状態である。区長会と情報交換して加入状況の実態把握をし、対策の検討を要望する。

A 自治会に入らない転入者が増えている。議会としても、自治基本条例等を制定し、町民それぞれの立場に立つて、権利、義務を明確にするための提案をしている。来年度、その調査を行って、議論することになっている。

各種団体において、町づくりについて話し合う中で、議会の考えを提言する。

Q 今回、委員会代表質問を行ったが、どのような目的で行い、どのような効果が得られたのかお聞きしたい。

A 個人の一般質問も大事だが、より専門的に検討することで政策として提言する力になるのではないかと、12月定例議会で代表質問を実施した。常任委員会の中で、何回か会議を持って質問内容を検討し、議員の中で意見交換ができたので、今後も続けていきたい。

Q 議員が一般質問で質問するが、チェック機能として機能している



のか。全国的に見て、質問したらそれで仕事が終わっているように見える。それをチェックして、検証する*。PDCAサイクルを回していく。議会として、そこをどのように考えているのか教えてください。

A 一般質問したものについては、「追跡」という記事を議会だよりに掲載している。一般質問に対して、その後どのように対応したのか、また検討するといったことに回答がない場合は、次の議会で質問する。

*Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)4つのステップを繰り返すことで、業務や品質を改善する手法。

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニター みなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は「議会だより しょうわ No.204」について、議会モニター みなさんからいただいた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だより しょうわ No.204 について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「行政視察報告」について

● 行政視察は、問題点の把握や行政の向上にとっても大切な事だと思います。どのように行政に反映されたかまで言及があると嬉しく思います。

「政策提言書の提出」について

● 「町長への提言書」の内容がよく分かって良かった。スペースと補足説明があればなお良いと感じる。

● 提言の内容の多くが行財政に反映されることでサービス向上につながり、町民の多くがそれを実感できるようになることを期待します。

定例会で決まったことについて

● 今回の教職員志願者数の減少を改善する請願及び意見書について共感しています。教員の労働環境が良くないことで、若手の教員が辞めてしまうことも問題だと感じています。

その他

- 今後も親しみの持てるおもしろい広報の作成を楽しみにしています。
- 議会だよりが町民の情報源であるので、これからも多くの意見が届く議会だよりを期待しています。

議会モニターさんに
議会だよりを評価してもらいました。

議会だより 通信簿

内容の満足度



読みやすさ



情報の多さ



議会の動き (一部掲載)

- | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 4日(火)～19日(水) 令和7年第1回定例会(3月議会) 17日(月) 甲府昭和高校との連携事業 18日(火) 甲府地区広域行政事務組合議会運営委員会 25日(火) 埼玉県児玉郡議長会視察受入 27日(木) 全員協議会 28日(金) 甲府地区広域行政事務組合議会定例会 28日(金) 三郡衛生組合議会定例会 中巨摩地区広域事務組合議会定例会 全員協議会 | <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 4日(火) 井戸端会議(押原地区) 5日(水) 井戸端会議(常永地区) 7日(金) 2市1町正副議長事務局会議 13日(木) 全員協議会・井戸端会議(西条地区) 20日(木) 町村議会議長会議 25日(火) 議会運営委員会 27日(木) 全員協議会 | <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 6日(月) 議会議員新年互例会 9日(木) 全員協議会・広報編集常任委員会 14日(火) 区長との意見交換会・広報編集常任委員会 23日(木) 全員協議会 24日(金) 山梨学院大学研修会 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



◀ 昭和町議会の全日程表はこちら

議会クイズ

次の問いに教えてください。

Q 令和7年度一般会計予算の総額は?
〇〇億〇〇〇〇万円

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。



No.204に
対する

こんなご意見をいただきました!

子どもたちの交通安全教育もさることながら、宅地化が急速に進むなかで、学校施設周辺の交通量が特に増えたように感じています。これまで、あまり車通りの無かった住宅街をスピードを出して走行する車も多く、町の交通環境が人口増や周辺の都市化に追いつけていないのではないかと感じます。過渡期だとは思いますが、何らかの対策があればお願いします。

メールにて(49歳・男性)

14ページの昭和玉穂中央通り線についてか、勉強になりました。たまたま近隣を車で通った際、どうなっているのだろうと疑問に感じました。今回の議会だよりを通して、進捗を知ることができてよかったです。

メールにて(37歳・男性)

仕事をしているなかなか時間のないなかで、町のいろいろな様子が議会だよりから知ることができて良いです。

メールにて(68歳・女性)

議会の活動がよくわかりました。

メールにて(36歳・男性)

12月定例会で決まったことが、一目瞭然とよくわかりました。

ハガキにて(88歳・女性)

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただいています。

【応募方法】

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想

を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありませんら、お願いいたします。

No.204のクイズの答え

11日間

【あて先】

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX:055-275-0370
- メール
gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》5月末日 消印有効



メールに移動



観光産業の現状からお話いただき、本町に観光客を呼び込むために必要なことや課題、受け入れ体制の整備が重要であることなどをお話いただきました。

立石 貴子氏

- 講師 山梨学院大学経営学部
- 開催日 令和7年1月24日(金)

観光対策としてインバウンドを
どう考えるか

山梨学院大学との連携



中学校部活動の地域移行に関し、先進的な取り組みを行っている本町に視察に訪れていただきました。検討会の設置の経緯から、受け入れ母体の確保、町からの支援、近隣市町との連携、教育現場からの反響等に関し、意見交換を行いました。

- 開催日 令和7年3月25日(火)

視察受入
埼玉県児玉郡議会議長会視察受入
(神川町・美里町・上里町)

視察受入



住んでみて

昭和町に住んでみて



上河東区

前嶋 ますし

寛 ひろし さん

21年前、我が家は昭和町に引っ越ししてきた。翌年に小学校入学する息子が車椅子を使っており、バリアフリーの小学校を探していたところ「昭和町は良い」と聞いたのがきっかけである。

学校内の環境整備も熱心に行っていたので、担任の先生にも大変よくしていただいたお陰で、小学校生活の6年間は非常に充実したものになった。

身延線の駅が近く、引っ越し後に開業したイオンモールにより利便性が増したのは言うまでもないが、その反面で地域活動が盛んである事にギャップを感じた記憶がある。小正月のどんど焼きに合わせて獅子舞が各戸を回るとい昔ながらの文化が脈々と受け継がれており、獅子舞が子どもクラブと一緒に各戸に回るのだ。「まいこめまいこめ」の掛け声と共に町内を練り歩く、子どもたちは持ち切れない程のお菓子を貰い、獅子舞後には温かいラーメンをご馳走になる。子どもたちも楽しみなイベントである。いまだに息子も「まいこめまいこめ」の楽しかった思い出が刻まれている。

ハンディキャップを持った子でも、息子の様に充実した学校生活を送れるような教育・福祉の更なる拡充と、獅子舞等の文化の継承に向けた取り組みを期待する。

昭和町に住んで



西条二区

井口 いぐち

登美子 ともこ さん

23年前、夫の定年退職を機に、北国山形から昭和町に越してきた。夫にとつては48年ぶりの故郷。ほぼ浦島太郎状態で、初めての私とそう変わりがなかった。幸い亡き両親が残してくれた家に住み、周囲の方々に沢山教えていただき、又助けていただきながら、どうにか昭和町民と名乗れるようになった気がする。

当時は、田んぼに水が入ると、夜、蛙の合唱が聞える自然ののどかさがあった。田畑が減り、店舗や住宅の増加と共に、のどかさが少なくなっていくのは、少し残念な気がする。

現在、地域の「百歳体操」に参加している。団塊の世代の私を含め、参加者は皆高齢者で色々痛みがあっても毎週集い、情報交換もできる。自力で歩き行動できるよう、地道な自助努力で、健康寿命を少しでも伸ばそうと頑張っているところだ。その上で、公的な支援が必要な時は、町が頑張ってくれている公助の助けを、大いに借りようと思う。

今後ともよろしくお願ひします、昭和町！



議会を傍聴しませんか??

次回定例会は
6月5日(木)
開催予定です

【お問い合わせ】
☎275-8842(議会議務局)

広報編集 常任委員会

委員長	泉 長田
副委員長	今 澤
委員	井 保
委員	井 坂
委員	敏 幸
委員	正 男
委員	敏 弘
委員	信 夫
委員	貴 子
委員	敏 弘

議会事務局員に俵 有輝氏

令和7年4月18日付の人事異動により、佐野 達希氏が山梨県市町村振興課へ。後任として前生涯学習課の俵 有輝氏が議会事務局に配属となりました。



新議会議務局長に鷹野 利仁氏

令和7年4月18日付の人事異動により、五味 隆氏の後任として鷹野 利仁氏が議会議務局長に前都市整備課長の鷹野 利仁氏が議会事務局に配属となりました。

